

結婚について

1. 結婚に対する考え方

(1) 結婚に対する考え方(問3)

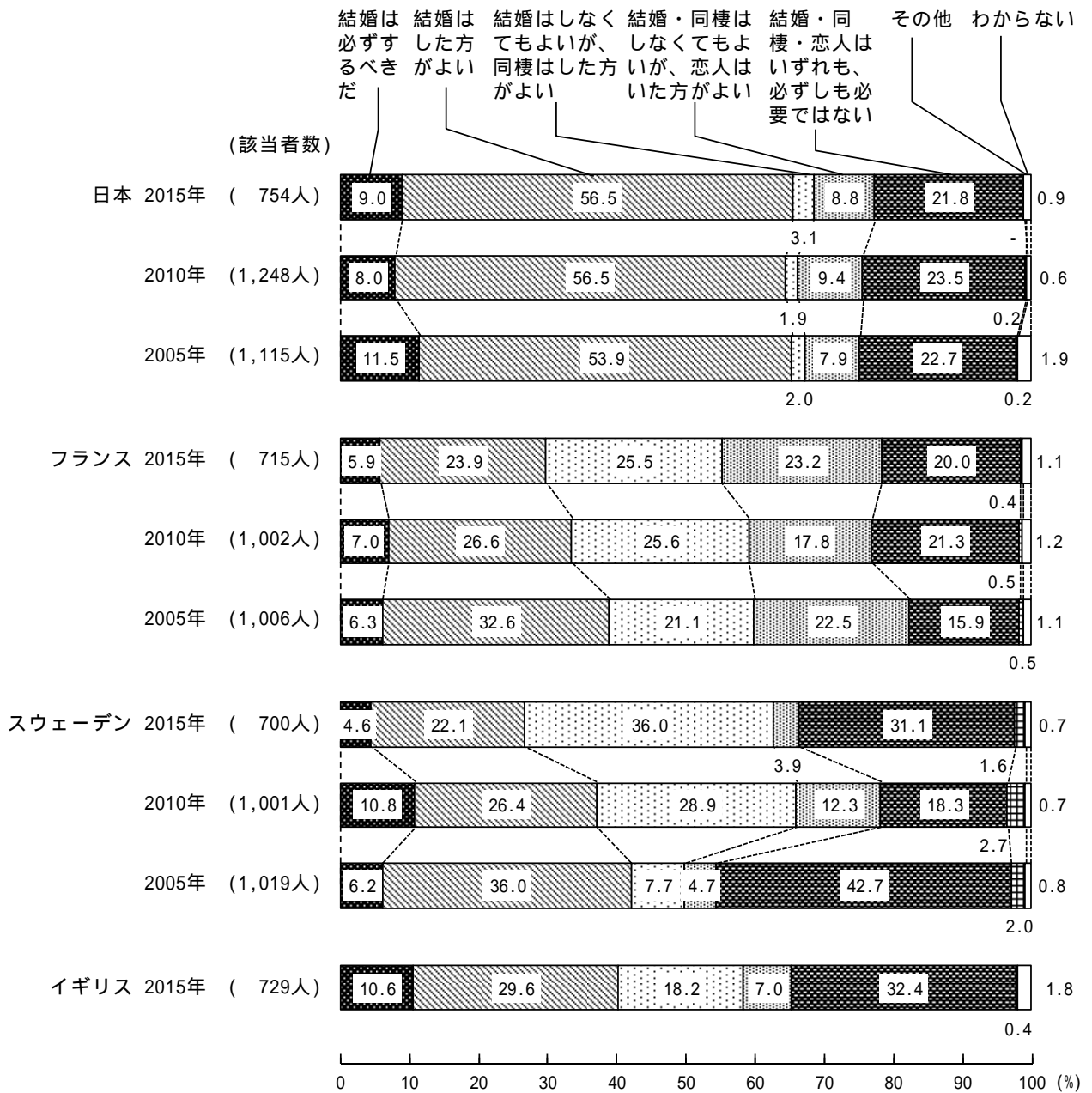
問3〔カード3〕人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 結婚は必ずすべきだ | 5 結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない |
| 2 結婚はした方がよい | 6 その他(具体的に) |
| 3 結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい | 7 わからない |
| 4 結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい | |

人生における結婚や同棲の必要性に対する考え方について聞いたところ、日本では、「結婚はした方がよい」(56.5%)が最も高く、「結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい」は3.1%にとどまっている。前回調査の結果からは、あまり変化はみられない。

各国の結果を比較すると、欧州各国では「結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい」の割合が、日本に比べて高く(フランス:25.5%、スウェーデン:36.0%、イギリス:18.2%)、フランスとスウェーデンでは最も多数を占める。一方、イギリスでは「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」(32.4%)が最も割合が高い。また前回と比べると、フランスでは大きな変化はみられないが、スウェーデンでは「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」が12.8ポイント、「結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい」が7.1ポイント増加し、「結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい」が8.4ポイント減少している。(図 - 1)

図 - 1 結婚に対する考え方



(2) 独身の理由 (問 3 b) ** 変更の質問

【現在結婚をしていない人に】

問 3 b [カード 5] 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。

- a) まず、1 番当てはまる理由を選んでください。
- b) では、2 番目は何でしょうか。
- c) 続いて、3 番目は何でしょうか。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 結婚するにはまだ若すぎるから | 9 経済的に余裕がないから |
| 2 結婚する必要性を感じないから | 10 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 3 同棲のままで十分だから | 11 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 4 今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから | 12 一生、結婚するつもりはないから |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから | 13 その他(具体的に) |
| 6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 14 特にない |
| 7 適当な相手にまだ巡り会わないから | 15 わからない |
| 8 異性とうまく付き合えないから | |

現在結婚をしていない人に、現在結婚していない理由を 1 番当てはまるものから順に 3 つまで聞いた。1 番当てはまる理由は、日本では、「適当な相手にまだ巡り会わないから」(27.3%) が最も高く、以下、「結婚する必要性を感じないから」(15.5%)、「今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから」(14.5%) などの順となっている。

各国の結果を比較すると、欧州各国では「結婚する必要性を感じないから」の割合が最も高くなっている(フランス:25.8%、スウェーデン:33.7%、イギリス:25.8%)。(表 - 1)

表 - 1 独身の理由(1 番目)

(%)

	結婚するにはまだ若	結婚するから必要性を感じ	同棲のままで十分だ	業(又は学業)に打ち込みたい	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだ巡	異性とうまく付き合	経済的に余裕がない	結婚生活のための住	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)	一生、結婚するつもりはないから	その他	特にない	わからない
日本	5	2	-	3	4.7	6.7	1	4	1.0	1.3	1.7	2.4	1.3	5.4	
2015年(297人)	7.4	15.5	-	14.5	4.7	6.7	27.3	2.4	8.4	1.0	1.3	1.7	2.4	1.3	5.4
フランス	3	1	2	5	2.8	2.2	4	4.2	0.7	0.4	3.9	2.2	4.8	1.8	
2015年(457人)	15.1	25.8	15.8	4.6	2.8	2.2	13.3	2.4	4.2	0.7	0.4	3.9	2.2	4.8	1.8
スウェーデン	4	1	3	5	0.4	1.6	2	5	-	0.2	2.7	4.7	1.8	0.2	
2015年(445人)	4.7	33.7	17.5	3.4	0.4	1.6	24.3	1.1	3.6	-	0.2	2.7	4.7	1.8	0.2
イギリス	2	1	4	3	0.6	3.2	3	5	-	0.2	4.0	2.7	1.3	1.5	
2015年(476人)	22.5	25.8	10.1	2.3	0.6	3.2	19.1	1.1	5.7	-	0.2	4.0	2.7	1.3	1.5

なお、2番目、3番目の理由は以下のとおりである。(表 - 2, 表 - 3)

表 - 2 独身の理由(2番目)

(%)

	結婚するから	結婚するから	同様のまま	業(仕事)に打ち込みたいから	今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	さ失いたくないから	独身の自由さや気楽さ	り会わなから	適当な相手にまだ巡り会わなから	えなから	異性とうまく付き合	から	経済的に余裕がないから	居るめどがたための住	結婚生活がたための住	から	意(だるう)	親や周囲が結婚に同意しないから	り一生、結婚するつも	その他	特にない	わからない
日本 2015年(297人)	3.7	7.4	1.0	11.1	4	3	5	10.1	16.5	1	16.5	3.0	13.1	2	13.1	1.3	1.0	0.7	-	4.7	13.8			
フランス 2015年(457人)	3.9	2	1	3	19.5	20.8	9.4	3.5	5.5	4	7.7	1.5	6.1	5	6.1	1.8	0.7	4.6	1.1	6.1	7.9			
スウェーデン 2015年(445人)	5	2	1	4	7.0	21.6	26.5	8.1	2.0	3	8.3	2.2	4.7	3	4.7	0.4	-	1.6	1.6	7.6	5.2			
イギリス 2015年(476人)	1	2	5	3	3.6	17.0	12.6	8.2	1.9	7.1	11.1	2.1	9.0	4	9.0	0.6	0.4	2.7	1.1	0.6	21.8			

表 - 3 独身の理由(3番目)

(%)

	結婚するから	結婚するから	同様のまま	業(仕事)に打ち込みたいから	今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	さ失いたくないから	独身の自由さや気楽さ	り会わなから	適当な相手にまだ巡り会わなから	えなから	異性とうまく付き合	から	経済的に余裕がないから	居るめどがたための住	結婚生活がたための住	から	意(だるう)	親や周囲が結婚に同意しないから	り一生、結婚するつも	その他	特にない	わからない
日本 2015年(297人)	2.7	5	1.3	6.4	3	10.1	12.8	1	4	9.8	3.4	12.1	2	12.1	5.7	0.7	1.7	-	6.4	19.9				
フランス 2015年(457人)	3.7	2	3	5.9	7.7	9.8	7.0	1.8	5.9	3.3	1.3	5.9	0.7	15.1	15.5									
スウェーデン 2015年(445人)	3.6	2	1	4	7.4	9.2	6.5	5.8	4.7	4.5	0.9	6.5	1.6	3	7.2	2.9	20.7	18.4						
イギリス 2015年(476人)	3.2	4	5	4.2	4.8	7.1	10.1	0.8	12.6	1.1	1.1	2.9	1.5	1.5	36.6									

なお、現在結婚していない理由を3つ合わせて集計したところ、日本では、「適当な相手にまだ巡り会わなから」(53.5%)が最も高く、以下、「経済的に余裕がないから」(33.7%)、「今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから」(32.0%)、「結婚する必要性を感じないから」(30.0%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、では「結婚する必要性を感じないから」の割合が、最も高くなっている(フランス:53.6%、スウェーデン:62.7%、イギリス:49.8%)(表 - 4)

表 - 4 独身の理由(合計)

(%)

	結婚するから	結婚するから	同様のまま	業(仕事)に打ち込みたいから	今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	さ失いたくないから	独身の自由さや気楽さ	り会わなから	適当な相手にまだ巡り会わなから	えなから	異性とうまく付き合	から	経済的に余裕がないから	居るめどがたための住	結婚生活がたための住	から	意(だるう)	親や周囲が結婚に同意しないから	り一生、結婚するつも	その他	特にない	わからない	回答計
日本 2015年(297人)	13.8	4	30.0	2.4	32.0	27.3	29.6	5	1	8.8	33.7	2	8.1	3.0	4.0	2.4	9.8	5.4	263.6						
フランス 2015年(457人)	22.8	4	53.6	44.6	19.9	14.0	17.5	3	3	5.7	16.2	5.7	2.4	14.4	3.9	26.0	1.8	276.6							
スウェーデン 2015年(445人)	5	1	2	4	15.3	62.7	53.3	18.0	8.3	9.4	37.1	4.3	14.8	2.0	0.2	11.5	9.2	1.8	0.2	248.1					
イギリス 2015年(476人)	3	1	4	29.2	49.8	28.4	14.7	7.4	17.4	40.3	4.0	27.3	1.7	1.7	9.7	5.3	1.1	1.5	239.3						

(3) 結婚や同棲に対する意向(問3c) **変更の質問

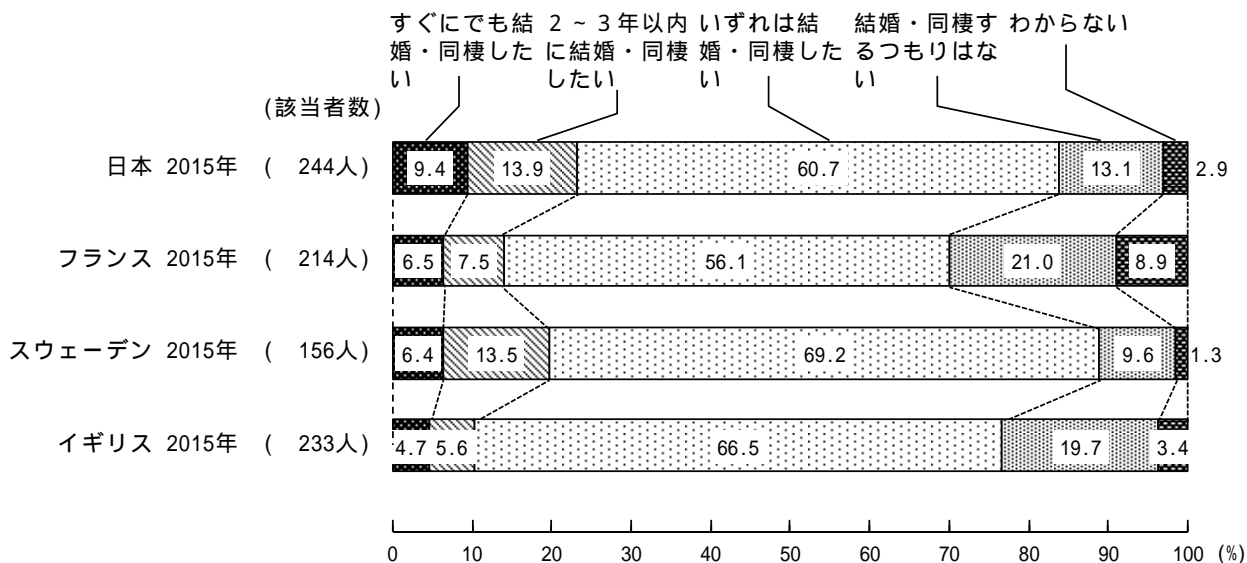
【結婚も同棲もしていない人に】

問3c〔カード6〕あなたは、将来結婚したり、同棲したいと思いますか。この中から1つを選んでください。

- 1 すぐにも結婚・同棲したい
- 2 2～3年以内に結婚・同棲したい
- 3 いずれは結婚・同棲したい
- 4 結婚・同棲するつもりはない
- 5 わからない

結婚も同棲もしていない人に、将来結婚したり、同棲したいと思うか聞いたところ、各国とも、「いずれは結婚・同棲したい」の割合が最も高くなっている(日本：60.7%、フランス：56.1%、スウェーデン：69.2%、イギリス：66.5%) また、「結婚・同棲するつもりはない」の割合は、日本と比べてフランス(21.0%)、イギリス(19.7%)で、それぞれ高くなっている。(図 - 2)

図 - 2 結婚や同棲に対する意向



2. 結婚生活の条件

(1) 結婚生活について不安に感じる事(問4)

問4〔カード7〕あなたが、結婚生活について不安に感じることは何ですか。この中からあなたの考えに近いものを、いくつでも選んでください。(M.A.)

同棲している方は、同棲・パートナーとの生活についてお答えください。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1 二人の相性 | 8 自分の自由の制約 |
| 2 二人の間で起こる問題の解決 | 9 子供の育て方 |
| 3 お互いの親族との付き合い | 10 子供の教育 |
| 4 お互いの親の介護 | 11 子供ができない可能性 |
| 5 お互いの前の配偶者やパートナーとの子供への向き合い方 | 12 その他(具体的に) |
| 6 結婚生活にかかるお金 | 13 特になし |
| 7 雇用が安定していない | 14 わからない |

結婚生活について不安に感じることを聞いたところ、日本では、「結婚生活にかかるお金」の割合が37.3%と最も高く、前回の28.4%より8.9ポイント増加している。以下、「お互いの親の介護」(35.9%)、「お互いの親族との付き合い」(32.6%)などの順となっている。

欧州各国の結果を比較すると、フランスでは「二人の相性」が41.4%と最も高く、前回の25.0%より16.4ポイント増加している。イギリスでも、「二人の相性」が34.4%と最も高い。スウェーデンでは「二人の間で起こる問題の解決」が35.4%と最も高く、前回の25.7%より9.7ポイント増加している。

(表 - 5)

表 - 5 結婚生活について不安に感じる事

(%)

	二人の相性	二人の間で起こる問題の解決	お互いの親族との付き合い	お互いの親の介護	お互いの前の配偶者との付き合い方	結婚生活にかかるお金	雇用が安定していない	自分の自由の制約	子供の育て方	子供の教育	子供ができない可能性	その他	特になし	わからない	回答計
日本															
2015年(754人)	21.6	23.6	32.6	35.9	12.5	37.3	10.1	18.3	24.8	23.5	5.0	-	8.9	0.5	254.6
2010年(1248人)	17.0	19.7	25.5	36.9	7.5	28.4	18.7	11.9	24.9	23.1	5.0	0.3	12.5	0.4	
フランス															
2015年(715人)	41.4	33.4	23.9	8.7	15.1	23.5	17.2	23.2	26.7	13.8	6.2	0.7	16.2	0.7	250.8
2010年(1002人)	25.0	34.8	28.9	15.4	16.5	26.6	34.4	9.0	36.3	18.5	10.8	0.9	4.9	0.3	
スウェーデン															
2015年(700人)	26.7	35.4	16.1	13.1	13.6	9.3	8.7	17.7	15.0	8.6	8.7	2.1	26.4	0.6	202.1
2010年(1001人)	16.8	25.7	15.7	17.6	11.7	15.6	16.4	11.7	14.9	14.6	10.1	5.1	36.7	1.9	
イギリス															
2015年(729人)	34.4	25.2	18.4	6.0	8.6	23.3	8.4	17.0	17.1	10.4	4.1	1.5	28.4	0.8	203.8

3. ライフデザイン

(1) 結婚や家族の在り方の意識形成(問5) *新規の質問

問5〔カード8〕結婚や家族の在り方について、あなたが親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことはありますか。この中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んでください。自分の子供がいない場合は、いと仮定してお答えください。(M・A)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 成人したら早く親元から自立する方がよい | 8 将来を考えてお金を管理することは大切だ |
| 2 恋愛や交際の経験は大切だ | 9 結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ |
| 3 1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい | 10 定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にすることが望ましい |
| 4 子供がいると生活が楽しく豊かになる | 11 その他(具体的に) |
| 5 子供を持つ時期は早い方がよい | 12 特にない |
| 6 男性も家事や育児に積極的に参加すべきである | 13 わからない |
| 7 女性が仕事をしながら子育てをすることはよいことだ | |

結婚や家族の在り方について、親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことを聞いたところ、日本では、「将来を考えてお金を管理することは大切だ」の割合が66.6%と最も高く、以下、「男性も家事や育児に積極的に参加すべきである」(45.8%)、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」(44.3%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは「成人したら早く親元から自立する方がよい」が47.4%と最も高い。スウェーデンでは「男性も家事や育児に積極的に参加すべきである」が77.1%と最も高い。イギリスでは、「将来を考えてお金を管理することは大切だ」が52.4%と、日本と同様最も高くなっている。(表 - 6)

表 - 6 結婚や家族の在り方の意識形成

(%)

	立成人した方が早く親元から自立する	恋愛や交際の経験は大切だ	1人で暮らすよりも配偶者がよい	子供がいると生活が楽しく豊かになる	子供を持つ時期は早い方がよい	男性も家事や育児に積極的に参加すべきである	女性が仕事をしながら子供を育てることは大切だ	将来を考えてお金を管理することは大切だ	結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ	定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にしたい	その他	特にない	わからない	回答計	
日本 2015年(754人)	27.1	5	25.5	44.3	16.7	2	45.8	28.5	66.6	40.7	18.4	0.1	2.4	0.4	353.7
フランス 2015年(715人)	1	6	31.0	38.0	10.2	5	35.8	42.7	19.2	19.0	0.4	3.6	1.5	318.5	
スウェーデン 2015年(700人)	36.1	3	57.9	15.9	48.4	8.1	77.1	41.3	73.6	16.4	19.6	2.9	0.7	0.6	398.6
イギリス 2015年(729人)	3	2	37.7	40.6	11.7	26.2	6.9	36.4	22.5	52.4	22.9	23.9	2.1	5.2	290.9